

令和7年度下半期 財政状況

区では、区民の皆さんが納めた税金等がどのように活用されているのかをお知らせするために、区の予算と収入・支出の状況を年2回公表しています。今回は、令和7年度下半期の財政状況をお知らせします。

【問合せ】財政担当 ☎5608-6232

●各表・グラフ中の数値は、四捨五入により合計額が合わない場合があります。

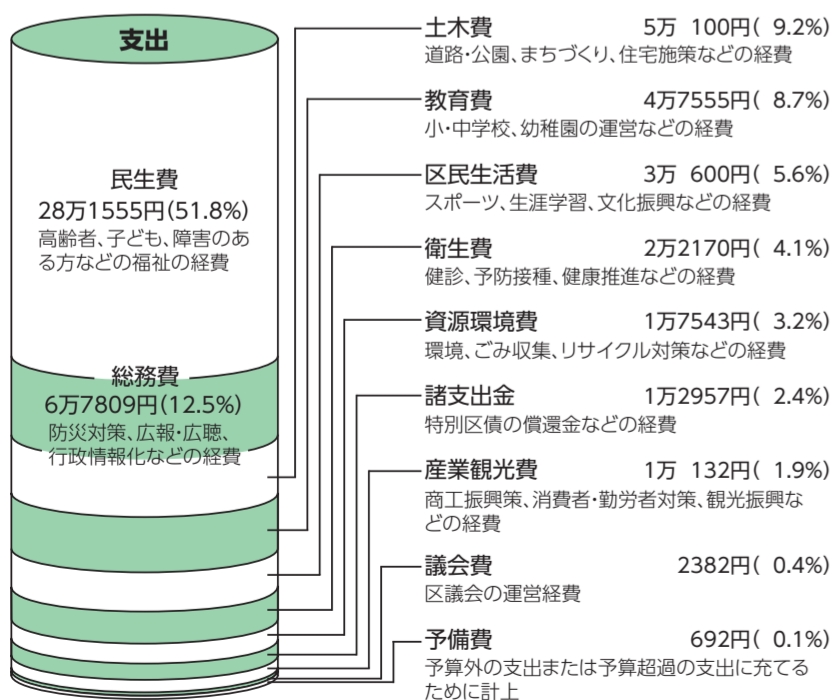
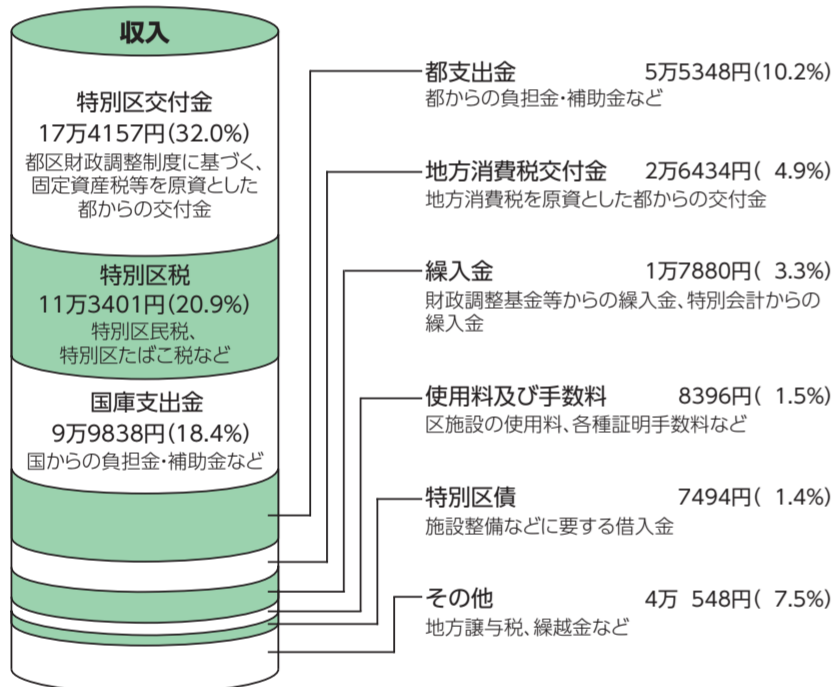
“人”に寄り添い 笑顔が輝く すみだの未来をデザインする予算

令和7年度下半期の我が国の景気は、海外の通商政策による影響がみられるものの、緩やかに回復しており、本区においても人口の増加と相まって、特別区民税をはじめとする区の歳入の一部は、前年度に比べて増収となりました。

一方で歳出は、物価上昇や金融資本市場の変動などによる影響を踏まえ、区民生活応援事業などを補正予算で対応し、予算に計上した事務事業を計画的・効率的に執行できました。

令和7年度 区民1人当たりの予算額(一般会計)

1人当たり 54万3495円	一般会計予算額 1569億7938万円
	8年1月1日現在の人口 28万8833人



●収入・支出ともに()内の数字は、一般会計予算額に占める割合です。
●一般会計予算額のうち、人件費は219億491万円(区民1人当たり17万5839円)です。
●収入・支出額のいずれも、前年度からの繰越明許費を除いています。

●予算の状況

【一般会計】7年10月1日以降、下表の補正を行った結果、最終予算額は1569億7938万円となりました。

【特別会計】当初予算に必要な補正を行い、最終予算額は、国民健康保険特別会計が276億8151万円、介護保険特別会計が242億3185万円、後期高齢者医療特別会計が74億6966万円となりました。

■令和7年度(下半期)一般会計の主な補正予算

11月議会補正 (50億4753万円の追加)	2月議会補正 (40億1898万円の追加)
▶各種人件費・給与費追加	▶住民税非課税世帯等エアコン購入費助成事業費
▶各種基金積立金追加	▶公園等新設・再整備事業費追加
▶新しい窓口サービス実行計画事務費追加	▶各種基金積立金追加
▶住民基本台帳事務費追加	▶戸籍情報システム運営経費追加
▶協治(ガパンス)まちづくり推進基金事業費追加	▶北斎基金事業費追加
▶地球温暖化対策助成事業費追加	▶文化観光基金事業費追加
▶後期高齢者医療特別会計繰入金追加	▶すみだ北斎美術館管理運営費(資料取得)追加
▶自立支援給付事業費追加	▶自立支援給付事業費追加
▶認可保育所等の給食実施等に対する支援事業費追加	▶地域型保育事業費追加
▶認可保育所等熱中症対策支援事業費	▶障害児通所支援事業費追加
▶家事・育児サポーター事業費追加	▶私立認定こども園運営補助事業費追加
▶都立児童相談所誘致における準備経費	▶認可保育所等の給食実施等に対する支援事業費追加
▶細街路拡幅整備事業費追加	▶私立保育所保育委託費追加
▶(小・中学校)学校管理業務委託費追加	▶私立保育所に対する助成費追加
▶幼稚園管理業務委託費追加	▶私立母子生活支援施設保護委託費追加
▶幼稚園運営費追加	▶私立母子生活支援施設に対する助成事業費追加
▶介護・障害福祉サービス等事業者支援金給付事業費	▶保育園管理運営委託等経費追加
▶区民生活応援事業費	▶がん検診費追加
▶児童手当・児童育成手当支給事業費追加	▶各種事務事業の不用額の減額
▶公衆衛生協力団体等支援金給付事業費	
▶ビジネス・ものづくり助成事業費追加	

●収入・支出の概況

8年3月31日現在の令和7年度各会計の予算現額と収支の状況は、下表のとおりです。一般会計の予算現額に対する執行率は、歳入が93.0%、歳出が80.2%となっています。

■令和7年度予算の収支の状況(8年3月31日現在)

区分	予算現額	収入額	支出額
一般会計	1583億9594万円	1473億3353万円(93.0%)	1269億6499万円(80.2%)
国民健康保険特別会計	276億8151万円	245億9489万円(88.8%)	241億9249万円(87.4%)
介護保険特別会計	242億3185万円	227億8435万円(94.0%)	217億9674万円(90.0%)
後期高齢者医療特別会計	74億6966万円	72億5943万円(97.2%)	72億6664万円(97.3%)

●予算現額とは、最終予算額に令和6年度からの繰越分を加えたものです。令和6年度からの繰越額は、一般会計で14億1655万円ありました。
●収入額・支出額欄の()内の数字は、それぞれ予算現額に対する割合です。
●各会計の収入・支出はともに出納整理期間中(4月1日～5月31日)にも執行・整理を行いました。

●区民負担の概況

区の施策を実施するために必要な財源として、区民の皆さんに税や各種使用料、手数料を負担していただいています。このうち、特別区税の予算現額と収入額は、下表のとおりです。

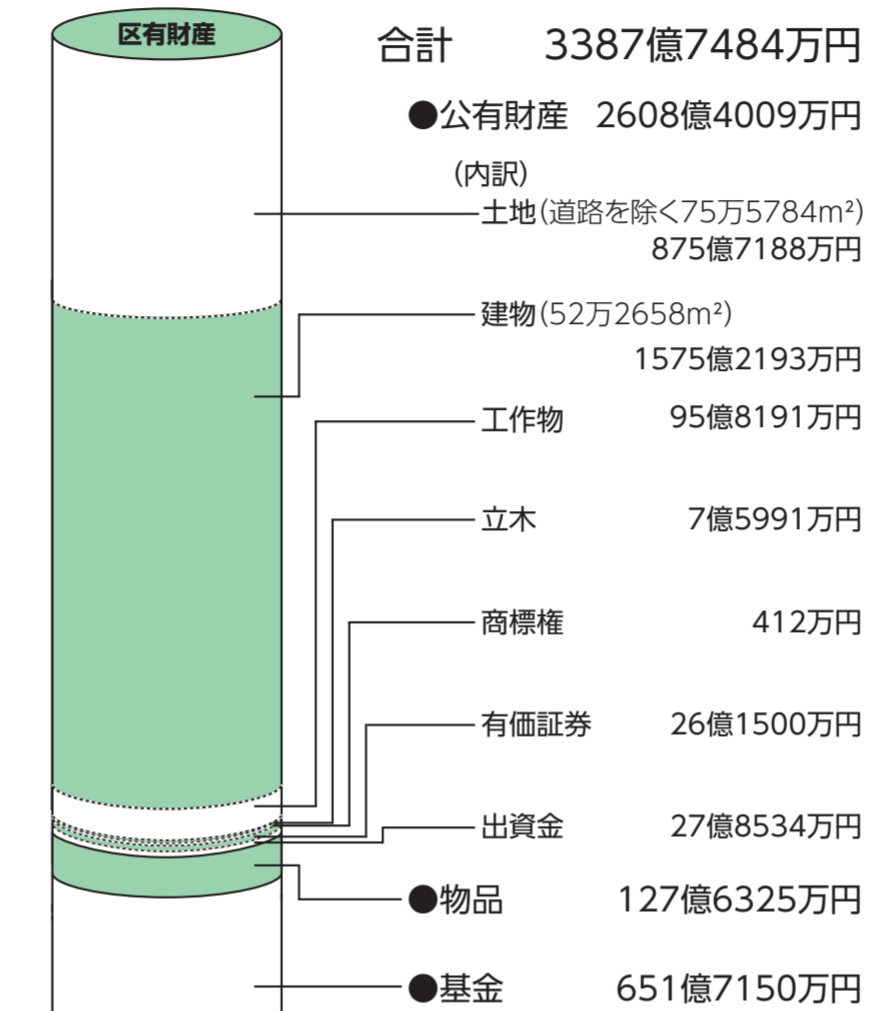
■令和7年度特別区税の予算現額と収入額(8年3月31日現在)

内訳	予算現額	収入額	収入率
特別区民税	303億2000万円	265億1250万円	87.4%
軽自動車税	1億3100万円	1億3401万円	102.3%
特別区たばこ税	22億8800万円	21億2836万円	93.0%
入湯税	1500万円	1574万円	104.9%
合計	327億5400万円	287億9061万円	87.9%

●上記の収入額に加え、出納整理期間中(4月1日～5月31日)にも収入がありました。

●区有財産の現在高

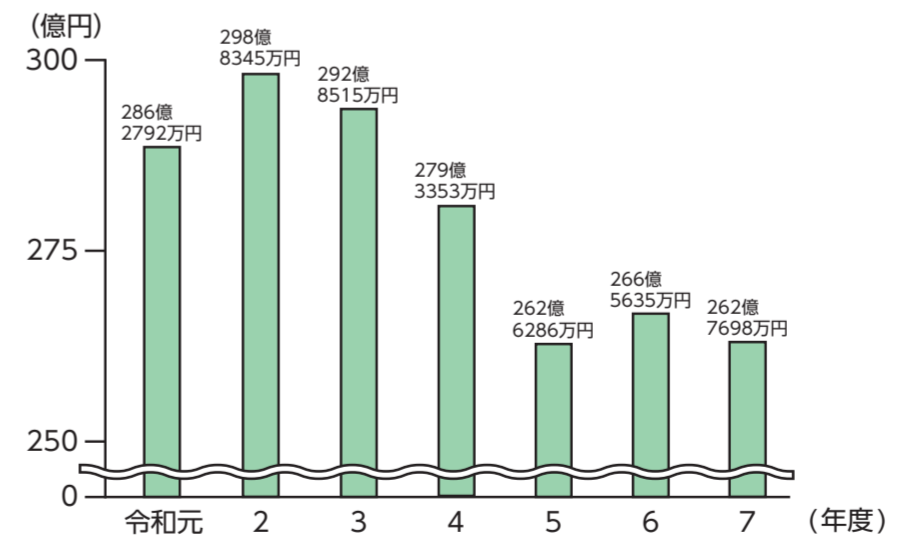
8年3月31日現在の区有財産の現在高は、下のグラフのとおりです。



●区債(特別区債)の発行残高

学校施設の整備や、まちづくり事業などの公共事業には、多額の経費が掛かります。このため区は、区債を発行し、その財源を確保するとともに、区債の償還を通じて現在から将来にわたる区民の皆さんの世代間の負担の公平化を図っています。

各年度末における区債の残高は、下のグラフのとおりです。



●一時借入金

一時借入金とは、収入と支出の時期に時間差があることで、事務事業を執行するうえで一時的に資金が不足する場合に、年度内償還を条件として市中銀行などから借り入れる資金のことです。

令和7年度は、この借入れを行う必要がありませんでした。



人がつながり 夢をカタチに すみだの新時代を切り拓く予算

令和8年度予算は、新たな基本構想と基本計画に基づき、10年先を見据えたすみだの未来を切り拓いていく初年度となることから、「人がつながり 夢をカタチに すみだの新時代を切り拓く予算」として編成しました。

我が国の景気の先行きには、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果による緩やかな回復が期待されるものの、国際情勢の影響を注視する必要があります。また、金融資本市場の変動の影響や通商政策をめぐる動向などが、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

一方、区財政は、令和8年度予算においても、歳入状況は引き続き堅調に推移するものと見込んだところですが、長引く物価高騰等の影響により、今後の景気動向は依然として不透明です。

こうした状況を踏まえ、引き続き、堅実な財政運営に取り組みとともに、新しい基本計画に基づいて、「暮らし続けたい・働き続けたい・訪れたいまちの実現」に取り組むほか、窓口等のDX化による利便性の向上、「区民が主役の窓口の実現」に向けた取組など、社会の変化に柔軟に対応していくための行政サービスの改革に取り組んでいきます。

予算の執行に当たっては、「これまで」と「これから」をつなぐ、人が主役のまちづくり、「暮らし続けたい・働き続けたい・訪れたいまちの実現」、「社会の変化に柔軟に対応していくための行政サービスの改革」という3つの柱の下に予算計上した各施策の目的が、最少の経費で確実に達成されるよう取り組んでいきますので、区政へのご理解とご協力をお願いします。

